



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

# 大和中ロータリークラブ会報

WORLD UNDERSTANDING AND PEACE THROUGH ROTARY

“ロータリーを通じて、世界理解と平和を”

1981-82 R.I 会長 スタンレーE. マッキヤブリー

第153回例会 56年7月9日 第159号

伊藤会長テーマ 身近かな奉仕に誠を尽そう

## 出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
40名	32名	80.0%	100%

欠席者

古木、鈴木、高橋、竹本、寺田、山中、保田、石渡

司会 SAA 佐藤 実

本日のプログラム

木材について 藤田 重成君

次週予定

クラブ奉仕について 寺田伍六君

## 〈ゲスト〉

加藤良興氏（報恩寺住職 綾瀬RC）

## 〈ビジター〉

近藤寿吉君（横浜瀬谷）  
中里直巳君、真鍋藤正君、石井勇君、小栗孝司君、  
大角浩一君、矢口禎夫君（大和）、山田満君（座間）

## 〈会長報告〉

第6分区分会副会長、幹事会（第1回）で渡辺ガバナー訪問について

①行事予定 11時～12時会長幹事会、12時30分～13時30分クラブ例会、14時～16時クラブ協議会、終了後15分間程茶話会程度とする。

②第6分区分会代理コメントがある

クラブ協議会開始前5分間程度、公式訪問クラブ協議会の主旨説明等、分区分会代理の立場で行われるので参考として下さい。

③クラブ協議会「ガバナー質問の参考」

出席について当クラブでのデータは？

新入会員についてどのように新旧会員の同化を計りますか？ 親睦活動、夫人に対するロータリーへの理解を深める為に如何か？ 会員増強の立場から未充填職業分類を先行すべきか？又は人物本位を主とした推薦をすべきでしょうか等。

④各委員会毎に委員長の計画説明後その都度ガバナーの感想が発表される予定。

⑤R I本部より強い要望として各クラブは広報活動を積極的かつ活発に進めて欲しいこと。

## 〈幹事報告〉

①地区大会出席の件で当クラブは全員参加を目的として居り主旨ご理解の上出席方ご協力下さい。

②地区大会表彰者は、ポールハリスフェロー、伊藤会長、富沢会員、布施会員です。

③例会場の卓話は八千代信用金庫へはしないこと。

## 〈親睦委員会〉 親睦委員長 伊藤英夫

①本日のお祝の方、おめでとうございます。

お誕生日 長谷川清一君（7月12日）

結婚記念日 亀谷 志郎君（7月12日）

創業記念日 合田 良徳君（7月9日）

入会記念日 後藤 定毅君（7月10日）

②第1回家族会は夏休み中でもありますので本年度は、お子様に奉仕する意で8月20日に実施。

## 〈卓話〉 「安心について」

報恩寺住職 加藤良興師（綾瀬RC）

▷報恩寺の本堂に「心安如海」の額があります。

安心は領解又は体験等により、心の安定不動を得

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和中央1-5-40  
大和市商工会館内

☎ 0462-63-7926

例会場：大和市大和南1-4-4

八千代信用金庫大和支店4階

☎ 0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より

会長：伊藤正男

副会長：寺田伍六

幹事：辻 国明

会報委員：古木・大高・合田・松本(三)

た境地をいい、安心の最初に使われたのは、達磨大師の面壁九年の壁観が安心であるとの記録です。▷神光が達磨大師に「我が心未だ寧からず、乞う師、ために安んぜよ」との問いに、「心を持ち来れ、汝がために安んぜん。」と、神光は「心を覓むるも了に不可得。」と、達磨大師は、「我れ汝のために安んじ愈る。」といわれたが、是は心の不可得を了するところに安心の境地があることを示したものです。

▷本堂の額は昭和10年頃、大本山永平寺の貫主、秦慧昭禅師の書です。昭和12年に日華戦争が起りましたが、報恩寺は「おたすけ観音」として有名でした。県外からも出征兵士の武運長久、無事凱旋の祈願に、当人や家族の方々が来られました。先住が台湾に出征した時に観音様の御蔭で九死に一生を得たので、その御利益を皆様に伝えたいと観音像を画き、又石像を彫刻したのが口伝により有名になりました。安心という程深いものではなくても、観音様を信じ、家族のものが交通不便の所にもかかわらず、参詣してくるので、敵の弾に当たらないと信じて安心して戦えたこと、必要以上に臆病にならなかった為に、かえって命を永らへさせ得たと思います。

▷「国の為に命を捨てる。」という時代に、よく無事凱旋の祈祷が弾圧を受けなかったね、と綾瀬のあるRC会員が話しましたが、別の会員は、今の自衛隊のパイロットは靖国神社や寒川神社の上で敬礼するが、昔のパイロットは「おたすけ観音」の上で敬礼したと話してくれました。北風の時の着陸コースは、本堂の前約百米、高度三百米位でしたので、パイロットの顔が見えていました。毎日それを見ていたので、中学三年生の時飛行機に乗りたくて、予科練へ行き終戦の時まで半年程おりました。日本では一番年少の兵隊だったと思います。

▷お釈迦様から達磨様は二十九代目であり、私は八十六代目ですが、日本へ曹洞宗を持って来られた道元禅師は五十三代目です。道元禅師の正怯眼蔵から修証義が編集されましたが、曹洞宗の安心の御経といえます。修行と証りの御経です。

▷修証不二、一分修行すれば、一分の仏、悟りを得てからの行いも、修行の時と同じである。少し位修行をしてもなかなか悟りを得られないから無駄だ、というのではなく、少しの修行、それがそのまま仏である。日々の行、持報謝の正道なるべし、設い百才の日月は無駄に費しても、「其中一日の行持を行取せば、一生の百才を行取するのみに非ず、百才の他生をも度取すべきなり」と一日の生活を重じています。

▷行住座臥全て禅、修証義第四章は発願利生で「菩提心を発すというは、己れ末だ度らざる前に一切衆生を度さんと発願し嘗むなり、」を観世音菩薩と同じ行願です。衆生を利益するというのは四枚の般若あり、一つには布施、二つには愛語、三つには利行、四つには同時、これ即ち薩埵の行願なり。

▷この四枚の般若は、本年度伊藤会長の「身近な奉仕に誠を尽そう、」と同じです。布施は、一句一偈の怯をも布施すべし、真実、真理を人に教えてあげる。一銭一草の財をも布施すべし、但彼が報謝を貧らず、自からが力を頒つなり、愛語は、慈愛の心を発し、顧愛の言語を施すなり、徳あるは讃むべし、徳なきは憐れむべし、利行は、利益の善巧を廻らすなり、窮亀を見、病雀を見しとき、彼が報謝を求めず、唯単へに利行に催さるるなり同時は、他をして自に同せしめて後、自をして他に同せしむる道理あるべし、海の水を辞せざるは同時なり、是故に能く水聚りて海となるなり。

▷安心立命という語があります。人力を尽して道を行い、吾身を天命に任せて、心を安んじて、他に動転せられざるをいう。一日だけでも良いのですが、常に努力を重ね、常に奉仕に心がける事が安心、悟りへの道です。

#### 〈例会報告〉

大和RCの新中里会長、真鍋幹事がご臨席され今年度も昨年と同様、親睦と友情を密にしてクラブ発展に努力するお言葉がありました。

#### 〈スマイルボックス〉

紙面の都合で次回報に掲載させていただきますのでお楽しみ方ご了承ください。